

2023年10月23日(月)スタート

日本浄土思想の歴史

～円仁・源信・法然・親鸞～

阿弥陀仏と極楽浄土の教えは、昔から人々の心の拠り所となってきました。大陸から伝わった浄土思想は日本で「凡夫が救われていく仏道」として確立し、芸術や文化にも影響を与えていきます。

本講座では日本の浄土思想において重要な円仁・源信・法然・親鸞の4人の仏教者を取り上げ、その思想的な展開と歴史についてお話いたします。



【講師】龍谷大学非常勤講師 しい ほうけん 四夷 法頭

【講座日】10/23から第4月曜 15:00～16:30

【受講料】6カ月 15,180円

※毎日文化センターの会員でない方は入会金が必要
(65歳以上 3300円・有効期限なし/65歳未満 5,500円・3年間有効)

- ① 10月23日 浄土思想とは？ 阿弥陀仏とは？
- ② 11月27日 円仁と比叡山における浄土思想の起こり
- ③ 12月25日 源信の『往生要集』と浄土思想の隆盛
- ④ 1月22日 法然による仏教の解体と再構築
- ⑤ 2月26日 親鸞が「浄土真宗」という宗名にこめた意味
- ⑥ 3月25日 『歎異抄』にみる親鸞の思想

四夷 法頭(しい ほうけん) プロフィール

龍谷大学／相愛大学非常勤講師、浄土真宗本願寺派宗学院研究員

浄土真宗本願寺派信行寺住職、博士(文学)、専門は日本浄土教思想／真宗学

お申し込みは

 毎日文化センター

TEL : 06-6346-8700 / FAX: 06-6346-8703

〒530-8251 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル2階

www.maibun.co.jp/wp/

